


JAバンク静岡における地域密着型金融の 取組状況について(平成28年度)

平成29年10月





JAバンク静岡（静岡県下JAと静岡県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、JAバンク静岡3か年計画に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

今般、平成28年度における地域密着型金融の取組状況について、以下のとおり取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援
(JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)
- II 担い手のライフサイクルに応じた経営支援
- III 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供
- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

I 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援 (JAバンク静岡の農業メインバンク機能強化への取組み)

JAバンク静岡は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

1. 農業融資商品の適切な提供・開発

- JAバンク静岡は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成29年3月末時点におけるJAバンク静岡の農業関係資金残高^(注1)は33,642百万円、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は13,268百万円となっています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者及び農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク静岡が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】

(単位:百万円)

類型	平成29年3月末
農業	32,133
穀作	1,443
野菜・園芸	7,487
果樹・樹園農業	2,260
工芸作物	5,367
養豚・肉牛・酪農	1,415
養鶏・鶏卵	481
養蚕	—
その他農業	13,676
農業関連団体等	1,509
合計	33,642

※ 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

※ 「農業関連団体等」には、JAや経済連とその子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

(単位:百万円)

種類	平成29年3月末
プロパー資金	21,040
農業制度資金	12,601
うち農業近代化資金	4,769
うちその他制度資金	7,832
合計	33,642

※ 「プロパー資金」とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

※ 「農業制度資金」には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク静岡が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

※ 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位:百万円)

種類	平成29年3月末
日本政策金融公庫資金	13,268
その他	—
合計	13,268

※ JAバンク静岡では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取扱っています。

2. 担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク静岡では、地域の農業者との関係を強化し、農業を振興するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者と情報共有を行い、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内18JAの本支店には30名の「担い手金融リーダー」が配置され、支店の活動をサポートしています。
- 信連では、JAのサポート指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充・強化を図っています。

Ⅱ 担い手のライフサイクルに応じた経営支援

JAバンク静岡は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

1. 新規就農者の支援

- JAバンク静岡では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位:百万円)

資金名称	平成28年度 実行件数	平成28年度 実行金額	平成29年 3月末残高
青年等就農資金	99	872	1,827
就農支援資金	—	—	1,843
JA新規就農応援資金	—	—	2
その他			18
合計	99	872	3,690

2. 6次産業化に向けた農商工連携の推進

- JAバンク静岡では、中央会、経済連などと連携し、生産者・JAと加工流通業者との商談会の開催など、農業6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	参加団体数	総来場者数	内容
東海四県 JAグループ 食と農の大商談会	平成28年 11月2日	・ 東海四県信連 (愛知・岐阜・三重・ 静岡)	109団体	1,391名	県下JA等に出展 を依頼しました。
ふじのくに 総合食品開発展	平成29年 1月11日	・ 静岡県 ・ 静岡県JAグループ ・ 静岡県産業振興 財団 他	185団体	1,011名	資金相談対応を 行いました。

3. JAバンク静岡講演会・セミナー等の開催

- JAバンク静岡では、融資先のお取引先様や系統団体を招いたセミナーを開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

【平成28年度講演会・セミナー開催実績】

講演会名	開催日	主催者	参加 団体数	内容
アグリビジネス セミナー	平成28年 9月7日	<ul style="list-style-type: none">静岡県農協中央会静岡経済連静岡県信連	54団体	<ul style="list-style-type: none">① 静岡県の6次産業化支援策② マーケティングの必要性と販路の獲得手法③ 6次産業化の取組み

4. 経営不振農業者への経営改善支援

- JAバンク静岡では、負債整理資金の対応にあたり、特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成28年度の農業者への経営改善支援等の取組実績】

区分		期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち再生計 画を策定 した先 a	Aのうち期末に 債務者区分が ランク アップした先 b	Aのうち期末に 債務者区分が 変化しなかつ た先 c	事業計画 策定率 =a/A	ランク アップ率 =b/A
	正常先 ①	2	2	-	2	100.0%	-
要 注 意 先	うちその他要注意先 ②	18	7	-	17	38.9%	0.0%
	うち要管理先 ③	-	-	-	-	-	-
	破綻懸念先 ④	5	4	1	4	80.0%	20.0%
	実質破綻先 ⑤	14	8	3	11	57.1%	21.4%
	破綻先 ⑥	-	-	-	-	-	-
	小計(②～⑥の計)	37	19	4	32	51.4%	10.8%
	合計	39	21	4	34	53.8%	10.3%

※期初経営改善支援取組先及び債務者区分は平成29年3月末時点でのものです。

Ⅲ 経営の将来性を見極める手法を始め、 担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク静岡では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

1. 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

- JAバンク静岡では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取扱っています。

【平成28年度負債整理資金の貸出実績】

(単位: 件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成29年3月末 残高
農業経営負担軽減支援資金	1	20	185
畜産特別資金	-	-	50
合計	1	20	235

※ 「農業経営負担軽減支援資金」は、営農に必要な資金の借入により生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取扱っています。

※ 「畜産特別資金」は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取扱っています。

IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した 持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク静岡では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

1. 災害被災者への支援

- JAバンク静岡では、東日本大震災による被災者への支援のため対策資金を設置しているほか、個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しています。

(単位: 件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	金額
平成23年台風15号緊急対策 利子補給の実施	静岡県信連	平成23年台風15号で罹災した農業者 に対し、県下JAの農業資金に係る利 子補給	利子補給件数 116	利子補給額 0.4
平成24年台風4号静岡県災 害緊急特別対策利子補給の 実施	静岡県信連	平成24年台風4号で罹災した農業者に 対し、県下JAの農業資金に係る利子 補給	利子補給件数 62	利子補給額 0.4
東日本大震災緊急特別対策 利子補給の実施	静岡県信連	東日本大震災による被害者支援を目的 として、県下JAの農業資金借入者に 対する利子補給	利子補給件数 14	利子補給額 0.1
JAバンク静岡保証料助成の 実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対 応として、県下JAの農業資金の借入 者が静岡県農業信用基金協会に支払 う保証料の助成	保証料 助成件数 770	保証料 助成額 81.1
JAバンク静岡利子助成の 実施	静岡県信連	原油・肥料・飼料価格等の高騰への対 応として、県下JAの農業資金借入者 に対する利子助成	利子助成件数 235	利子助成額 3.5
合計 (利子補給・助成、保証料助成)			1,197	85.5

取組事例	JA名	内 容	件数	実行金額
農業災害対策支援資金	JA 伊豆太陽	正組合員の方が災害や社会的・経済的に急激な環境変化等によって、一時的に売上や利益が減少し、資金繰りに支障をきたしている場合、または、災害による農業施設の修復、建替に必要な資金を簡便に融通し、農業経営を円滑にすることを目的に実施	1	2
平成24年度台風4号災害対策支援資金の対応	JA なんすん	台風で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、低利の資金を対応	40	89.8
平成25年度凍霜害対策支援資金の対応	JA なんすん	凍霜害で畜産物の被害を受けた組合員に対し、低利の資金を対応	11	22
家畜飼料特別支援資金	JA 掛川市	平成21年度に飼料代高騰による支援のため1件実行	1	16
合計			53	129.8

2. JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク静岡は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県内531校の小学5年生（約3万2千人）に配布され、学校の授業等において活用されています。
- また、県下JAでは、下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動内容
JA伊豆太陽	サツマイモ・落花生・ジャガイモ・水稻栽培体験学習
JA三島函南	学校給食への地元野菜提供
JAあいら伊豆	みかん収穫体験、学校給食へのみかん提供
JAなんすん	農業体験(野菜苗の定植、田植え、稲刈り等)
JA御殿場	水稻栽培体験
JA富士市	農業体験(畑作・稲作・収穫・田植え・稲刈り)、サツマイモ収穫体験
JAしみず	学校へのお茶・飲み茶提供、茶摘み・手揉み体験、野菜栽培体験、草木染体験
JA大井川	稲作体験、落花生・サツマイモ・大豆等栽培体験、食農体験教室(野菜、米)
JA遠州夢咲	学校給食へのお茶提供
JA遠州中央	食農体験(ブルーベリー狩り、かまど炊き体験等)
JAとぴあ浜松	農業体験(米)、米・野菜の収穫販売加工体験
JAみっかび	もち米栽培体験
JA静岡中央会	野菜収穫体験、農業機械乗車体験、フラワーアート・クイズラリー等各種イベント